施設保全費		
共通費		
管理費		
試験研究費		
研究費償却		
減価償却費		
固定資産除却費		
通信設備使用料		
租税公課		

［注１～７　略］

８　「予測値の具体的な計算式等」の欄には、費用区分ごとに、予測値の具体的な計算式及び予測値の算定において予測対象年度における見込み及び過去の実績値をどのように用いたのかについて具体的に記載すること。また、事業年度ごとに算定方法が異なる場合は、当該事業年度ごとに記載すること。記載に当たつては、以下の記載例を踏まえて記載すること。

（記載例）

Ａ×Ｂ＋Ｃ

※　Ａは・・・・。

Ｂは・・・・。

Ｃは・・・・。

（それぞれ、見込みなのか、過去の実績値に基づくものかを含めて詳細に記載すること。）

９　「基礎的なものの具体的な値」の欄には、費用区分ごとに、算定に用いた見込みや過去の実績値のうち、設備投資額の見込み等予測対象年度における接続料に影響を与え得る基礎的なものについて、その具体的な値を記載すること。また、事業年度ごとに算定方法が異なる場合は、当該事業年度ごとに記載すること。記載に当たつては、以下の記載例を踏まえて記載すること。

（記載例）

Ａ：○○億円（△△年）、○○億円（△△年）、○○億円（△△年）

Ｂ：○％（△△年）、○％（△△年）、○％（△△年）

Ｃ：○○億円（△△年）、○○億円（△△年）、○○億円（△△年）

２の２　データ伝送交換機能の回線数単位接続料の原価の算出

	接続料原価			備考
	実績値（事業年度）	参考値（事業年度）	予測値（事業年度）	
営業費				
運用費				

施設保全費	
共通費	
管理費	
試験研究費	
研究費償却	
減価償却費	
固定資産除却費	
通信設備使用料	
租税公課	

［注１～７　同左］

８　「算定方法」の欄には、費用区分ごとに、予測値の算定において用いた過去の実績値及び予測対象年度における見込み（設備投資額の見込み等予測対象年度における接続料に大きな影響を与え得る基礎的なものについては、具体的な値を含む。）並びに当該予測値の具体的な計算式を記載すること。また、事業年度ごとに算定方法が異なる場合は、当該事業年度ごとに記載すること。

［新設］

２の２　［同左］

	接続料原価			備考
	実績値（事業年度）	参考値（事業年度）	予測値（事業年度）	
営業費				
運用費				